

# 共同生活援助ワンダム 「地域連携推進会議」 議事録

**日時** 2025年6月30日（月） 14時～14時50分

**場所** 共同生活援助ワンダム 304号室

**委員** 利用者 1名（体調不良のため欠席）  
利用者家族 2名  
福祉識者 2名  
地域関係者 1名 民生委員  
福祉事業者 2名

## 議題

- 1 アパートタイプの共同生活援助における自立支援
- 2 アパートタイプの共同生活援助の地域連携
- 3 委員の情報共有・意見交換

## はじめに

### 福祉事業者

#### ○委員紹介

地域関係者（民生委員）は、6月2日千葉県障害福祉サービス課長通知「地域連携推進会議について」に従い、千葉市中央区民生委員協議会長に了承を得た上で出席いただいている。

#### ○地域連携推進会議とは

地域連携推進会議の主たる目的は、事業者と地域の連携により、サービスの透明性・質を確保することにあるので、外部の視点から忌憚ないご意見をいただきたい。

#### ○構成員の役割

構成員の役割は、施設との情報共有・意見交換であり、様々な事例に接する基幹相談支援センター、民生委員から情報共有いただければありがたい。

## 1 アパートタイプの共同生活援助における自立支援

### 福祉事業者

アパートタイプの共同生活援助における自立支援の実際として、今朝のような救急要請か否かの判断、深夜の希死念慮への対応がある。

金銭管理支援の希望に対しては、金銭を預かるのではなく、1日毎の収支計画を記載した金銭出納帳をグループホームが作成し、毎週、利用者と職員が収支の状況を確認する支援を行っている。

### 福祉識者

グループホーム入居希望時、戸建かアパートタイプか本人の希望を聞き、地域を考慮し探している。また、本人がどこまで自らのことをできるか、家賃等も考慮し、利用につなげている。

## 2 アパートタイプの共同生活援助の地域連携

### 福祉事業者

グループホームの地域連携は、グループホームが催事を開き利用者が地域の住民と交流するというイメージがある向きもあるが、アパートタイプの利用者は自立度が高く、一律に地域連携という概念が当てはまらない。

### 福祉識者

地域連携については、本人が興味あること、例えば神社のお祭り等に職員と一緒に参加することは有意義と考える。

### 福祉識者

利用者の家族は“このようなことができるようになるとよい”と相談に来られるが、本人は特に求めているケースがある。

グループホーム利用者や職員と地域の関わりは、定型的なイベントを開催する方策だけが必ずしも利用者の求めるものではなく、利用者個々が興味を持って自ら参加する内容、タイミングが異なるので、グループホームはその情報を提供し、外部のイベント等で本人が興味ありそうなことを情報提供することが有用と考える。建物のエントランスにポスターを貼る等での情報提供も一法と考える。

## 3 委員の情報共有・意見交換

### 終わりに

#### 福祉事業者

いただいたご意見は今後の事業運営に活かしてゆく。

事業者と地域の連携により、今後もサービスの透明性・質を確保につなげてゆくので、引き続きご協力をいただけるようお願い申し上げます。